

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年11月26日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月26日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿いまして説明をいたします。

まず、来週の委員会ですけれども、先週お伝えしたとおり13時開始ということになっています。後で説明します日中韓の会合に伴委員が午前中出席するためということになります。

次が、11月30日の（3）、核燃料施設等の審査会合です。

議題は、リサイクル燃料備蓄センターの設計工事計画認可ということで、2分割申請される2つ目ということのようで、その2回目の申請については今回初回会合なので、概要の説明があるということのようです。

次が、2ページ目に行きまして、11月30日の（5）、第1017回の審査会合というものです。

議題は、高浜の1・2号炉について、バーナブルポイズンというものがあるらしくて、それが今、使用済燃料プールで保管されているものなのですけれども、その場所を移すらしくて、そういう案件の許可申請があったということのようで、それについてということになります。

次が、12月1日の（6）、来週の委員会後の委員長の会見になりますけれども、委員会が13時開始なので、記者会見についても後ろに倒れまして、15時15分からということになります。

次が、12月2日の（7）、東海再処理監視チームです。

議題は「変更認可申請について」とありますけれども、具体的には3点あるようでして、1つ目は、廃止措置の進め方についてということで、今後の廃止措置全体の工程表などの説明があるということのようです。

2つ目は、まもなく申請される予定という工程の洗浄についてということで、いろいろな設備に付着した核燃料物質を洗浄して取り出すようなのですけれども、それがまもなく申請される予定ということで、その説明ということになるようです。

3つ目は、運転が中断されていますガラス固化について、改めてその現状の説明がある

ということのようです。

次が、12月3日の（8）、標準応答スペクトルの会合になります。

議題は、柏崎刈羽についてということで、もともと今日、12月26日の会合で議論する予定だったのですが、延期されてこの日になっています。7日9日に申請があって、今回は2回目の会合というもののようです。

次が、3ページ目に行きまして、12月3日の（9）、1Fの事故分析検討会です。

これは、中間取りまとめへの事業者の意見を聞くシリーズをずっとやってきましたけれども、その最終回で、今回は東電ということになります。

加えて、秋になってから何度か規制庁のほうで現地調査に入りましたので、その状況を報告することになります。

最後に、4ポツ、その他の（1）、日中韓規制者会合というものがあります。

通称TRMと呼んでいるものでありまして、年1回、3か国が持ち回りで主催して、今回の主催国が日本ということになります。ウェブ会議で行われまして、出席するのは伴委員ということになります。内容は非公表ということです。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

では、ハセガワさん、お願いします。

○記者 NHKのハセガワです。

最後の日中韓原子力規制者会合、非公開というのは、本当に、特に何が話されたかというの、その後。

○黒川総務課長 その後の説明もしない予定です。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—